

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	徳島県教育委員会 担当課：体育健康安全課 電話番号：088-621-3167
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	82校	② 生徒数	16,770人	③ 部活動数	644部活
--------	-----	-------	---------	--------	-------

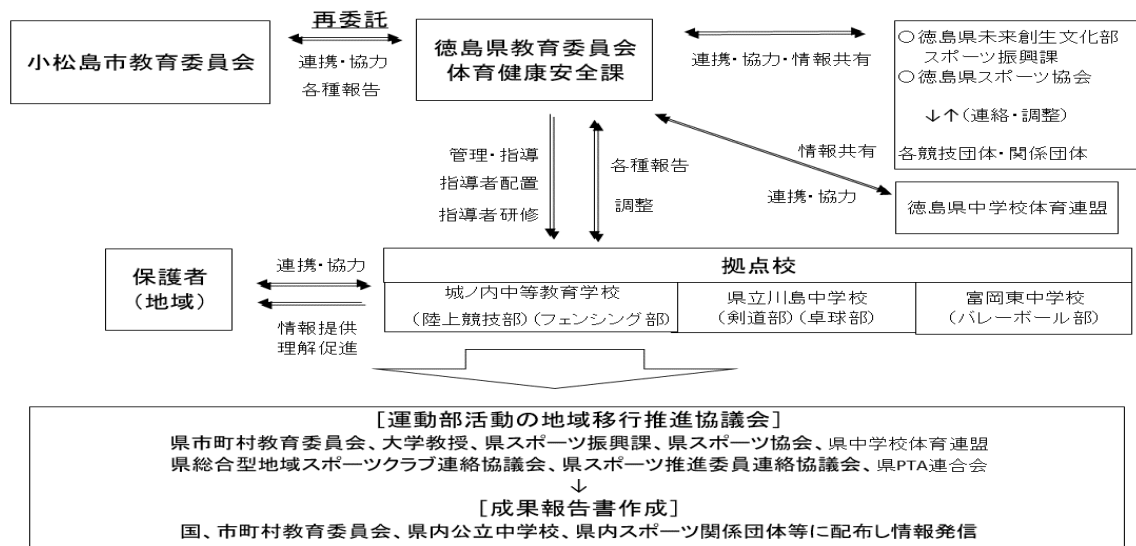
1.2 地域における現状・課題

- ・ 学校部活動は、生徒にとって、体力や技能の向上に資するだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあり、多様な生徒が、いきいきと活動できる場として、重要な役割を有していると認識している。しかしながら、中学校の運動部活動においては、少子化による部員不足に伴い、部活動の維持に悩む学校が多く、単独校では練習や大会参加が困難な事例や、小学生のときからの活動を継続できない事例がある。
- ・ これまで中学生がスポーツに親しむ機会は、学校が運動部活動を設置運営する形で確保されてきたが、少子化の影響や学校の働き方改革を踏まえると、現行の仕組みを維持する困難さは、今後ますます大きくなることが予測される。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 新規のモデル事業実施部活動顧問の時間外在校等時間を25%以上削減
- ・ 生徒及び保護者の地域移行に対する満足度80%以上
- ・ 令和5年度以降の、休日の地域移行実施運動部の段階的な増加

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

『徳島県運動部活動の地域移行推進協議会』

- ・ 円滑な地域移行に向けた検討を進めるため、県及び市町村教育委員会や総合型地域スポーツクラブ、PTA等で構成する協議会を立ち上げ、継続して意見交換を実施

<p>第1回（8月）議事内容</p> <p>(1)徳島県運動部活動の地域移行推進協議会設置要項 (2)運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要 (3)徳島県地域運動部活動推進事業の状況 (4)各市町村の地域移行に係る状況 (5)今後の協議会の在り方 (6)意見交換 〔有識者の助言〕 ・まずは、各市町村の持っている資源の把握が必要 ・所管する各中学校や保護者及び地域住民との意見交換が必要 等</p>	<p>第2回（10月）議事内容</p> <p>(1)運動部活動の地域移行に向けての手引き（案） (2)令和5年度徳島県地域運動部活動推進事業（案） (3)意見交換 〔有識者の助言〕 ・スポーツ少年団の活用 ・休日の部活動運営を複数校で共同実施 ・地域に応じた様々な形態での実施を検討 等</p>	<p>第3回（2月・文化部活動との合同）議事内容</p> <p>(1)部活動の地域移行に向けての手引き（案） (2)令和4年度徳島県地域運動部活動推進事業 (3)令和5年度運動部活動の地域移行等実証事業（案） (4)意見交換 〔有識者の助言〕 ・「生徒がわくわくするような形づくり」をするための地域連携大切 ・退職教員がこれまでの経験を生かしながら支える ・組織をマネジメントする人材、クラブそのものが社会組織化していく必要 等</p>
---	---	--

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全3中学校（中等教育学校の前期課程含む）のうち、3校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	5部活
③ 種目	陸上競技、フェンシング、バレーボール、剣道、卓球

≪主な取組例（1）≫…徳島県立城ノ内中等教育学校

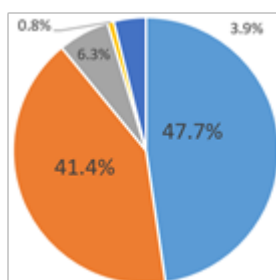
① 運営主体	徳島県教育委員会		
② 種目	フェンシング	③ 参加者数	16人
④ 活動日	土曜日または日曜日	⑤ 活動場所	城ノ内中等教育学校体育館
⑥ 指導者人数	4人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	社会人1名、公務員1名（兼職兼業）、教員2名（兼職兼業）を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

≪主な取組例（2）≫…徳島県立城ノ内中等教育学校

① 運営主体	徳島県教育委員会		
② 種目	陸上競技	③ 参加者数	22人
④ 活動日	土曜日または日曜日	⑤ 活動場所	城ノ内中等教育学校グラウンド、ワークスタッフ陸上競技場
⑥ 指導者人数	2人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	公務員1名（兼職兼業）、教員1名（兼職兼業）を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

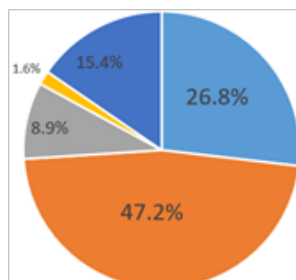
3.2 参加者の声（生徒、保護者、教員）

【生徒】現在の休日の部活動に満足しているか



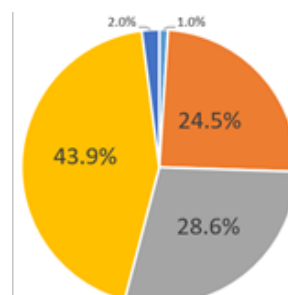
■ ①とても満足している
■ ②やや満足している
■ ③あまり満足していない
■ ④全く満足していない
■ ⑤どちらでもない

【保護者】子供の現在の休日の部活動に満足しているか



■ ①とても満足している
■ ②やや満足している
■ ③あまり満足していない
■ ④全く満足していない
■ ⑤どちらでもない

【実践研究校教員】休日の部活動が地域移行された場合、兼職兼業の許可を得た上で、地域の指導者として指導したいか



■ ①とても思う
■ ②担当する部によっては思う
■ ③あまり思わない
■ ④全く思わない
■ ⑤どちらでもない

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

○指導者の確保

- ・県教育委員会や学校とのつながりを継続させることが重要
- ・県教育委員会が設置している「運動部活動指導者人材バンク」の活用
- ・県のホームページ、教育通信ふれあいひろば（広報誌）、公立学校退職教員への「運動部活動指導者人材バンク」への登録依頼

○活動場所の確保

- ・中学校等の体育施設を積極的に利用するほか、小学校や高等学校、特別支援学校、廃校となった施設等の利用
- ・学校の施設を利用しての活動が想定されるため、施設の利用について、運営団体とのルール設定が必要
- ・公的な体育施設を利用する場合、減免措置等を検討

○受益者負担のあり方

- ・学校管理外の活動であるため、活動に要する費用が受益者負担となることが原則
- ・保護者からの理解を得ることが重要
- ・部活動を地域移行することのメリットを踏まえた、保護者への情報発信が必要

○学校の部活動数の削減及び複数顧問の配置

○平日の学校部活動との棲み分け

(大会への参加資格)

- ・日本中体連の動向を注視し、県中体連と大会の参加資格や引率規定等の見直しについて調整を進める。

(大会の運営主体)

- ・県内の大会運営は、多くの場合、中高の教員が担当しているため、兼職兼業の教員と、競技団体の関係者だけでの開催は困難
- ・関係団体が、大会運営に携わるスタッフを、地域の中から発掘するなどの取り組みが必要

(事故等に対する責任の所在等)

- ・地域スポーツ活動は学校管理外の活動であるため、運営主体となっている団体が責任を負う
- ・地域スポーツ活動での「スポーツ安全保険」への加入を促進
- ・休日の活動と平日の活動で指導者が異なる場合には、必要に応じて、指導者間で指導方針や生徒に関する情報等の共有を行うなど、緊密な連携を図っていく必要

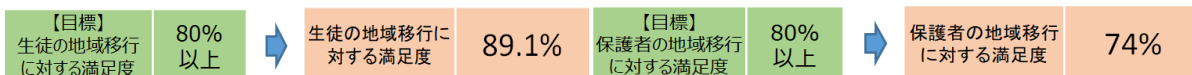
4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・新規のモデル事業実施部活動顧問の時間外在校等時間を 25%以上削減



- ・生徒及び保護者の地域移行に対する満足度80%以上



4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

- ・統括コーディネーターを配置し、関係団体との連絡調整・指導助言等を行う
- ・地域移行推進協議会を開催し、関係機関との連携のもと、円滑な地域移行に向けた検討を行う

【指導者の確保方策】

- ・地域人材の把握（地域スポーツ団体の登録者、スポーツ推進委員、スポーツ少年団の指導者、退職教員等） ・指導を希望する教師の把握
- ・人材バンクの活用 ・大学・企業等との連携 ・民間事業者との連携

【地域移行の自走化に向けた方策】

- ・「国のガイドライン」及び「徳島県における中学校の地域移行に向けての手引き」等を参考に、推進計画等の策定など、地域の実情に応じ、地域移行に向けた取組を進める

【受け皿団体の確保方策】

- ・既存の組織・団体が無い場合は、新たな組織・団体の立ち上げも検討
- ・単独の市町村では、運営団体・実施主体の整備が困難な場合には、近隣の市町村と連携することが有効

【困窮世帯への支援方策】

- ・地域スポーツクラブ活動に係る収支を踏まえた会費の適切な設定・徴収方法の検討
- ・可能な限り低廉な会費の設定を検討

【地域特有の課題への対応策】

- ・直ちに体制を整備することが困難な場合には、当面、学校部活動の地域連携として、拠点校方式による合同部活動の導入、部活動指導員や外部指導者を適切に配置し、生徒の活動環境を確保

「休日の部活動の地域移行に関するアンケート」集計結果

●アンケートの概要

経 緯 : 「休日の部活動の地域移行」に関する取組について、
今後の参考とするため、「休日の部活動の段階的な地域
移行に関する実践研究」に係るアンケートを実施

日 程 : 令和4年12月20日から令和5年1月21日まで

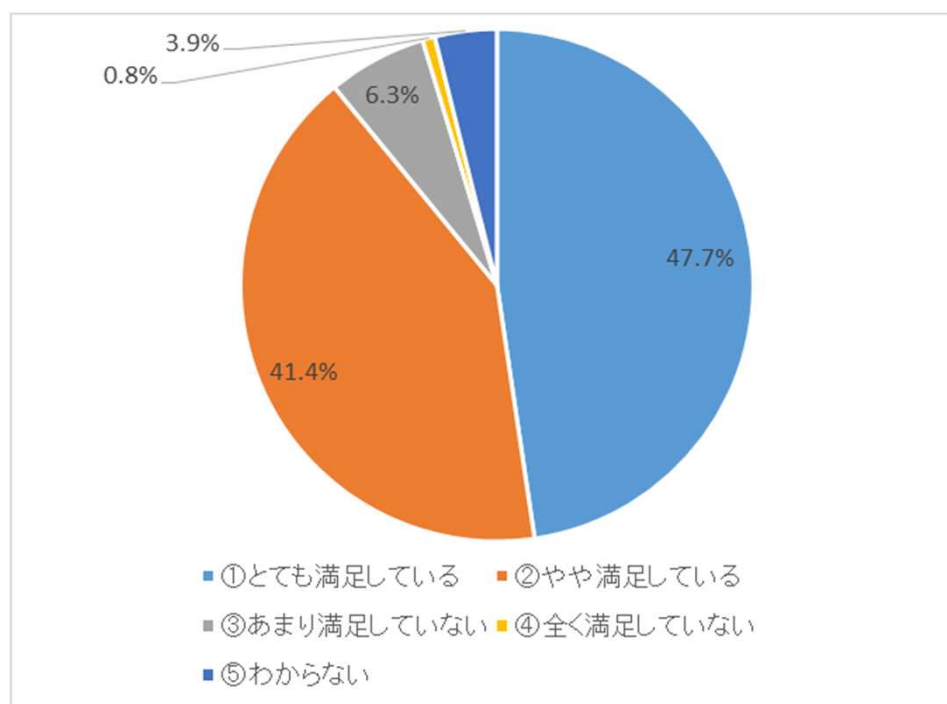
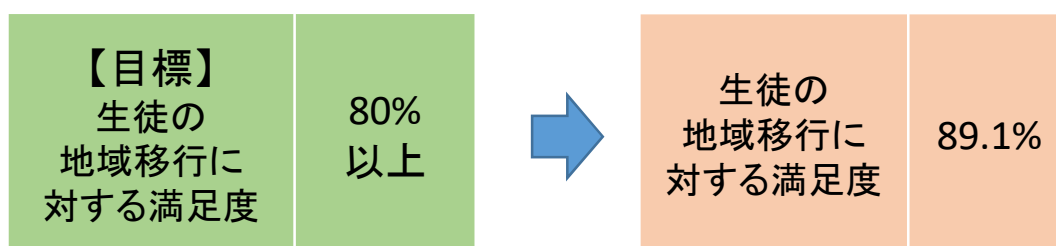
対 象 : ○実践研究実施部【生徒】【保護者】
○モデル校【教員】【新規実践研究実施部顧問(教員)】

回答数 : 【生徒】128人 【保護者】123人 【教員】 99人

【生徒】問1

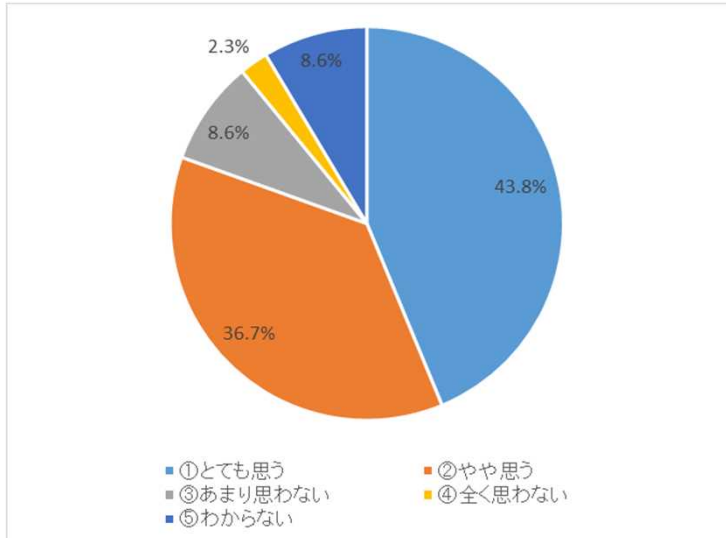
現在の休日の部活動に満足していますか。

- ・「とても満足している・やや満足している」と肯定的に回答した割合は、89.1%
- ・「あまり満足していない・全く満足していない」と否定的に回答した割合は、7.1%
- ・「わからない」と回答した割合は、3.9%
- ・令和4年度事業の目標を「生徒の地域移行に対する満足度80%」としている。
- ・約90%の生徒が、満足していると回答した。休日の部活動は、生徒にとって満足度の高い活動であることがわかる。
- ・保護者向けアンケートにも同様の質問あり。



【生徒】問2

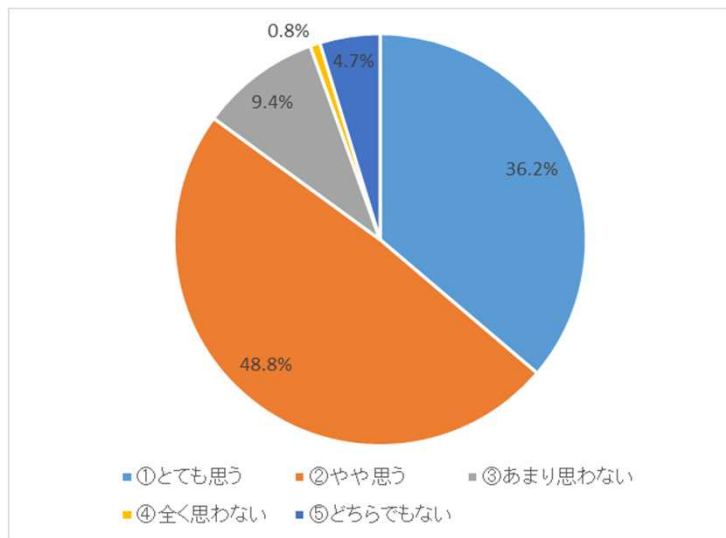
休日の地域部活動の量(頻度・時間)は、適切ですか。



- ・「とても思う・やや思う」と肯定的に回答した割合は、80.5%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、10.9%
- ・「わからない」と回答した割合は、8.6%
- ・約80%の生徒が、適切な量であると回答した。
- ・保護者向けアンケートにも同様の質問あり。

【生徒】問3

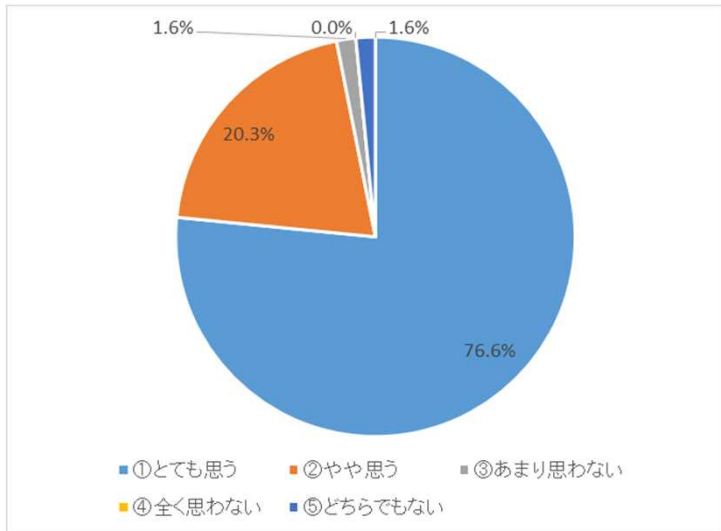
部活動では、勝つことや入賞することが大切だと思いますか。



- ・「とても思う・やや思う」と肯定的に回答した割合は、85%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、10.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.7%
- ・85%の生徒が、部活動では勝つことや入賞することが大切だと捉えている。

【生徒】問4

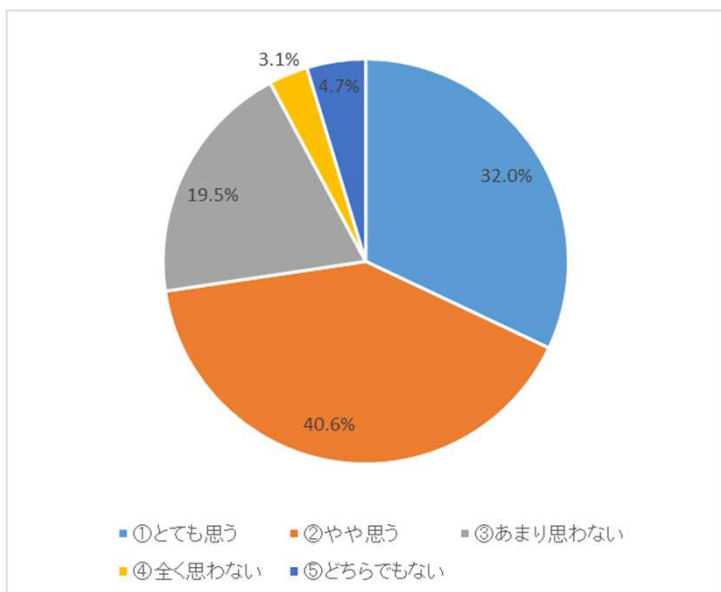
部活動では、楽しむことが大切だと思いますか。



- ・「とても思う・やや思う」と肯定的に回答した割合は、96.9%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、1.6%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、1.6%
- ・約97%の生徒が、楽しむことを大切に部活動に取り組んでいる

【生徒】問5

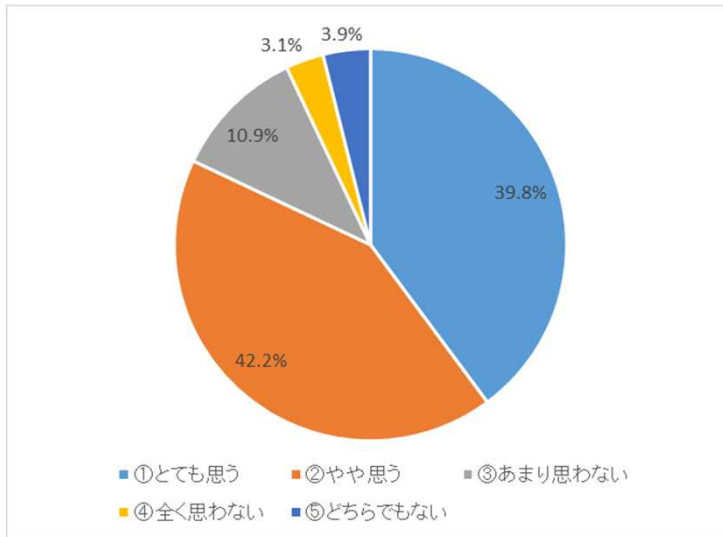
現在、部活動で取り組んでいる競技を、中学校卒業後(後期課程になっても)も続けたいと思いますか。



- ・「とても思う・やや思う」と肯定的に回答した割合は、72.6%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、22.6%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.7%
- ・70%を超える生徒が、現在取り組んでいる競技を続けたいと回答した。

【生徒】問6

生涯にわたり、スポーツに取り組んでみたいと思いますか。



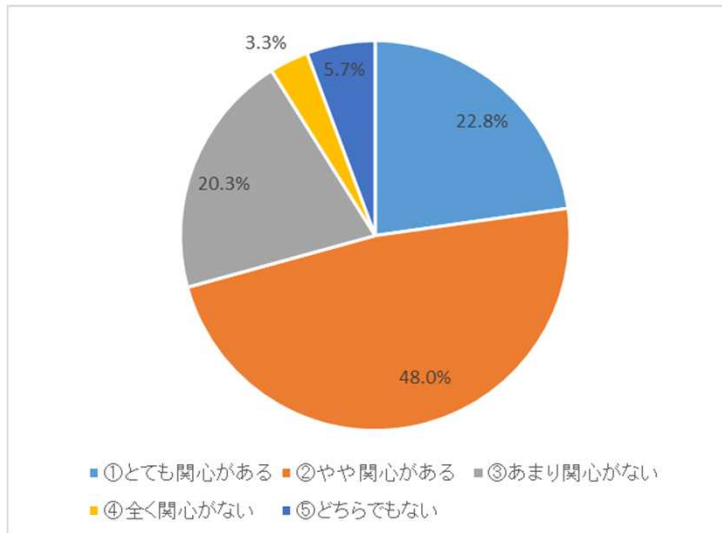
- ・「とても思う・やや思う」と肯定的に回答した割合は、82%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、14%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、3.9%
- ・80%を超える生徒が、生涯にわたり、スポーツに取り組んでみたいと回答した。

【保護者】問1

休日の部活動の地域移行に関心はありますか。

【地域移行】

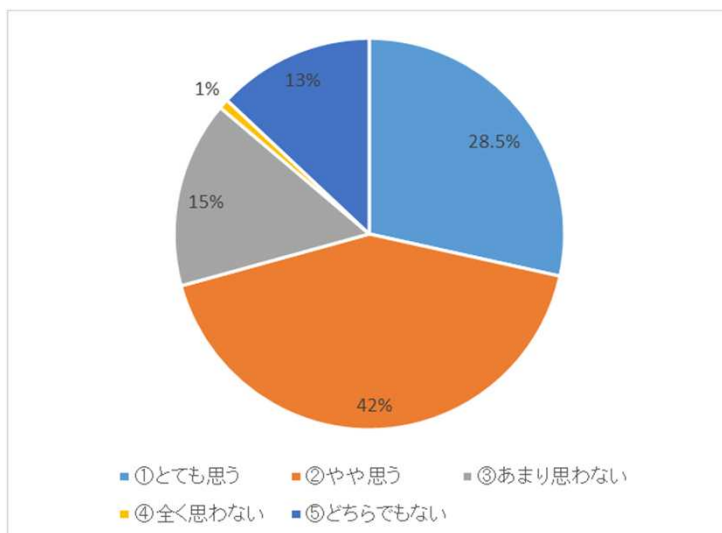
部活動を学校の活動ではなく民間団体（地域のスポーツクラブやNPO法人など）により運営される活動にして地域に任せようとする動き



- ・「とても関心がある・やや関心がある」と回答した割合は、70.8%
- ・「あまり関心がない・全く関心がない」と回答した割合は、23.6%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、5.7%
- ・約70%の保護者が、休日の部活動の地域移行に関心があると回答した。

【保護者】問2

休日の部活動を地域に移行することは、良いことだと思いますか。

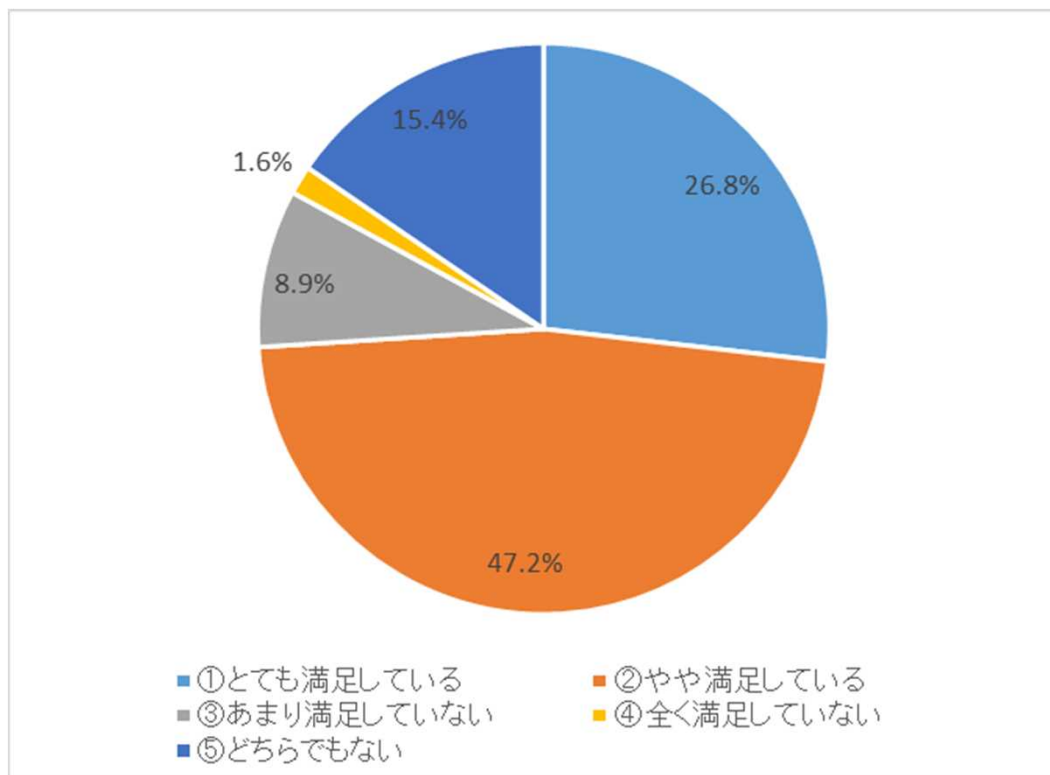
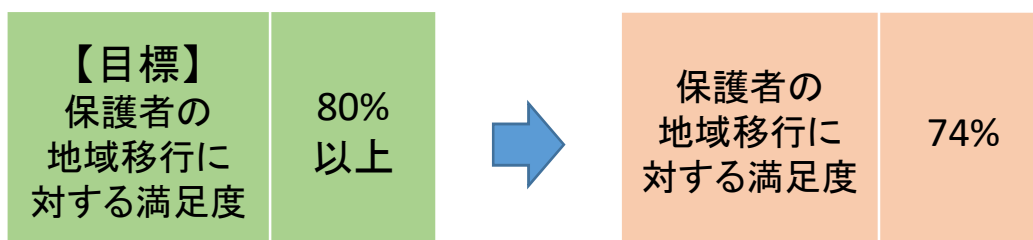


- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、70.8%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、16.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、13%
- ・約70%の保護者が、休日の部活動を地域に移行することは良いことであると回答した。

【保護者】問3

お子様の、現在の休日の地域部活動に満足していますか。

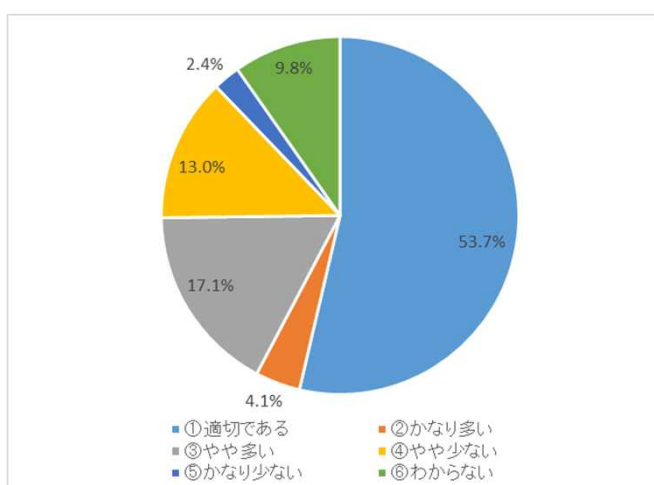
- ・「とても満足している・やや満足している」と肯定的に回答した割合は、74%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と否定的に回答した割合は、10.5%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、15.4%
- ・令和4年度事業の目標を「保護者の地域移行に対する満足度80%以上」としている。
- ・74%の保護者が、休日の地域部活動に満足していると回答した。
- ・生徒アンケートでは、約90%生徒が満足度の高い活動であると回答しており、生徒と保護者の捉え方には差異がみられる。



【保護者】問4

休日の地域部活動の量(頻度・時間)は、適切ですか。

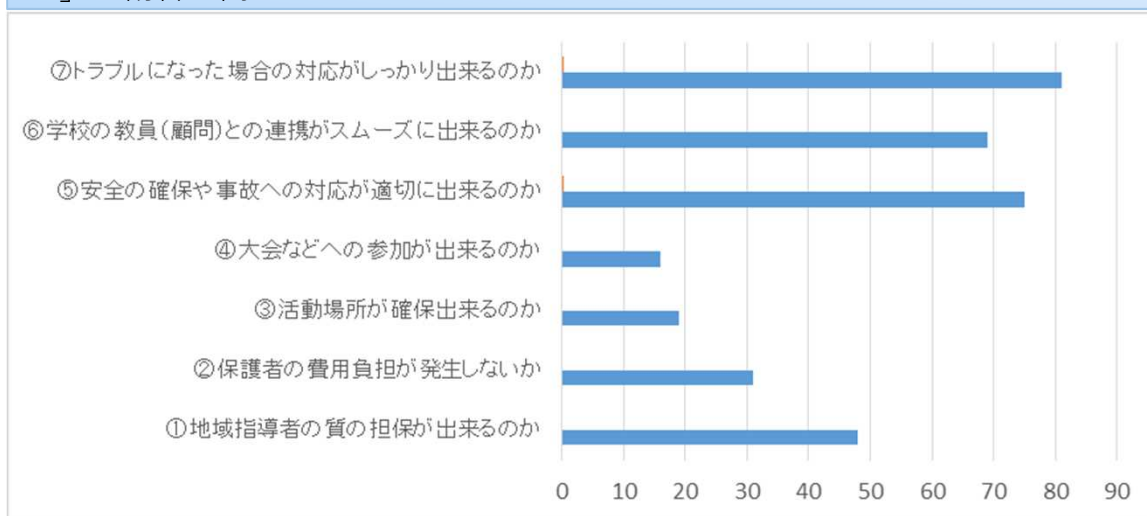
- ・「適切である」と肯定的に回答した割合は、53.7%
- ・「かなり多い、やや多い」と回答した割合は、21.2%
- ・「かなり少ない、やや少ない」と回答した割合は、14.4%
- ・「わからない」と回答した割合は、9.8%
- ・生徒アンケートでは、約80%が適切であると回答している。
- ・誰もが参加しやすくするためには、競技志向ではない生徒や保護者の意向も十分に尊重して活動時間を設定するなど、生徒の志向や体力等に適した量とする。
- ・競技志向の生徒向けの活動でも、ガイドラインで設定している活動時間や休養日を踏まえた量とすることが求められる。



【保護者】問5-1

休日の部活動の地域移行にあたり、心配されることは何ですか。3つまでお答えください。

- ・「トラブルになった場合の対応がしっかり出来るのか」「安全の確保や事故への対応が適切に出来るのか」「学校の教員(顧問)との連携がスムーズに出来るのか」の割合が高い



【保護者】問5-2

問5-1について、御意見等がございましたら、自由に記載してください。

問5-1
休日の部活動の地域移行にあたり、心配されることは何ですか。

(一部抜粋①)

- 先生には、休日の指導に感謝しかない。部活動は教員の方々の犠牲の上になりたっていると思う。無給ではなく、対価を受け取っていただきたい。
- 家庭やプライベートも大切にできる先生の実環境作りが大事だと考える。
- 教員の負担が減るのは、とてもよいと思う。積極的に推進してほしい。
- 今は、学校の先生が地域の指導者として、指導してくれているので、学校との連携ができていて安心してお任せできる。ただ先生の負担が大きくないかを心配している。
- 教員が休日に部活動の指導をする必要はないと思うが、地域指導者が指導するのは部活動と言えるのか。
- 先生の本業である教育・授業に集中できるようになれば、教育の質も上がり、子供達のためにも繋がると思う。
- 休日の地域指導者と顧問の先生の指導の仕方が違う場合には生徒が困惑するので、指導者間で話し合っ、ある程度同じ方向で導いて欲しい。
- 宿泊をともなう大会等は、学校の先生の引率がないと心配。それだけ先生に対する信頼度は高い。
- 教員の負担を減らして、部活動の向上のためにも地域部活動は推進すればよいと思うが指導者に教育者と同等のモラルや質が確保できるかが心配。
- 競技経験の豊富な指導者に教わることで、より専門的な技術を習得でき、本人(子供)も大変満足している。今後もこのような活動を続けてほしい。
- 地域指導者は、どのような基準を持って決定するのか。子供を預かる上で、どのような人物かは、きちんと明確に公表してほしい。
- 退職教員、地元在住の教員の方に積極的に指導者として頑張ってもらったらどうか。子供達も顔見知りで、スポーツに専門的な知識と技術のある先生なら、喜んで指導を受けられると思う。

(一部抜粋)②

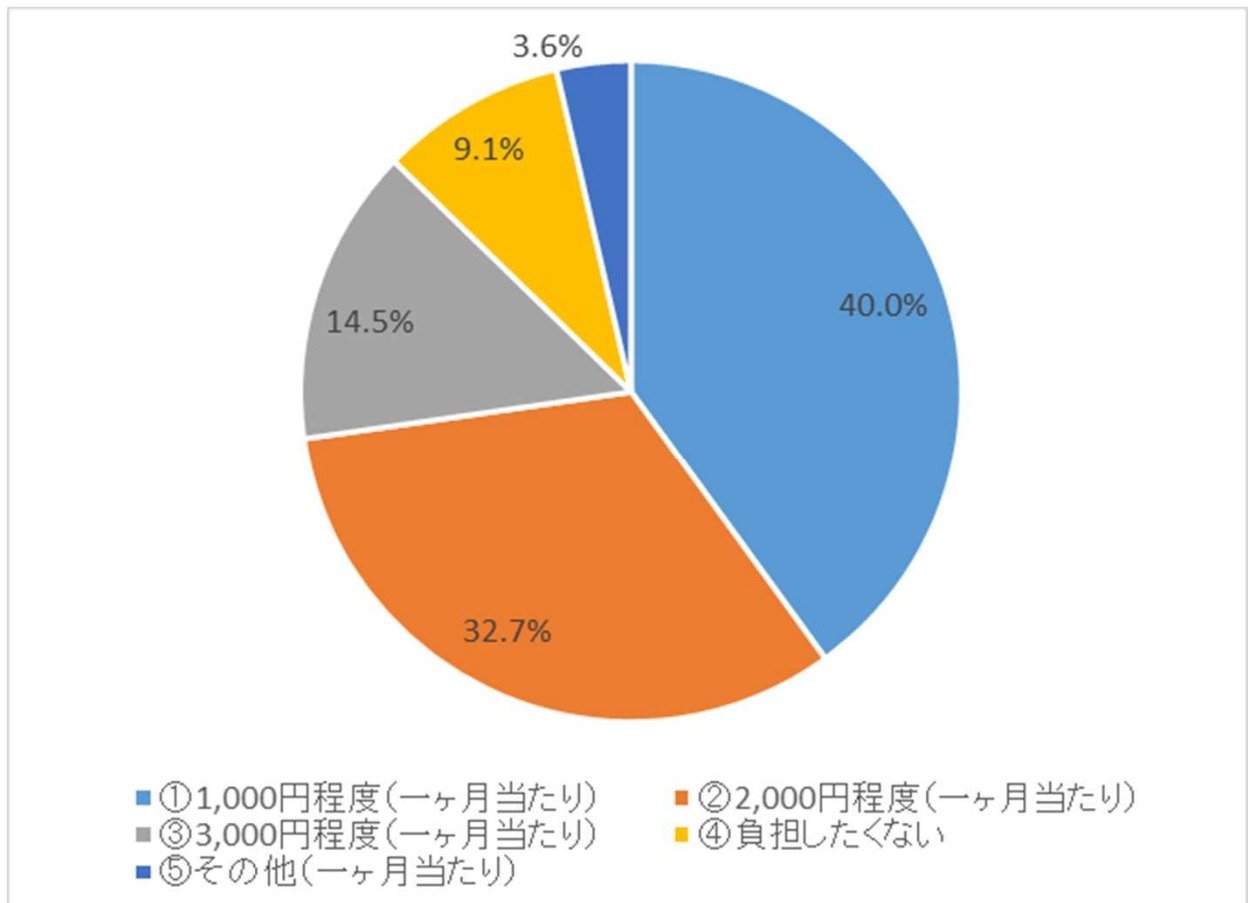
- 部活によっては、顧問の先生が未経験者の場合がある。休日の指導者は、経験者で、指導の勉強をされている方でしたら、費用を払ってもよいと考えている。子供達にとっても、視野の広がる機会となることを期待しています。
- 学校でしか部活動に所属できない生徒の扱いはどうなるのか。
- 中学校の部活動で、高額な費用負担が出てくると、部活をしたくても入部できない子が出てくると思うので、部活格差ができるのでは。
- お金に余裕のある家庭の子しか、部活に入れなくなってしまうと思うので、費用は国や県等で賄ってもらいたい。
- 行き帰りの安全面。活動場所が遠い場合、雨天時降雪時は行き帰りが心配。
- 子どもの移動・安全・安心面などから、学校施設を使用できればいいと思う。
- 子供のやりたいことであれば、協力はしようと思うので、安全の確保や事故などの対応ができるのなら地域移行はいいと思う。
- 試合とかは休日にあるとは思っているので、その場合は仕方ないが、休日に部活動をする必要があるのか。
- 部活動は、学級や学年の枠を超えて同好の児童生徒が自主的・自発的に集い、顧問の指導のもとで個人や集団としての目的や目標を持ち、切磋琢磨することを通じて、人間関係の大切さ、組織を機能させることの重要性を学ぶことができる教育活動であるので、学校がある日だけでいいと思う。
- 休日は、大会、練習試合以外の日は、塾に行く、家族と過ごす、クラブチームに行く、それぞれの家庭の価値観の過ごし方でよいのでは。
- 地域移行により、活動場所が遠くなり、参加できない生徒が出ないようにしてほしい。また、敷居が高くなり、部活動参加自体をあきらめてしまう生徒が出ないようにしてほしい。
- 子供の学校や部活動、塾等で完全に休みになる日があまりないので、日曜日に大会以外で参加するのに少し抵抗がある。

【保護者】問6

休日の地域部活動に係る費用(指導者への謝礼金、施設使用料、保険料など)について、いくらまでなら負担してもよいとお考えですか。(円/月)

※今年度は、地域運動部活動に係る費用については、国費によりまかなわれています。
(旅費、ジャージ、シューズ代等は除く)

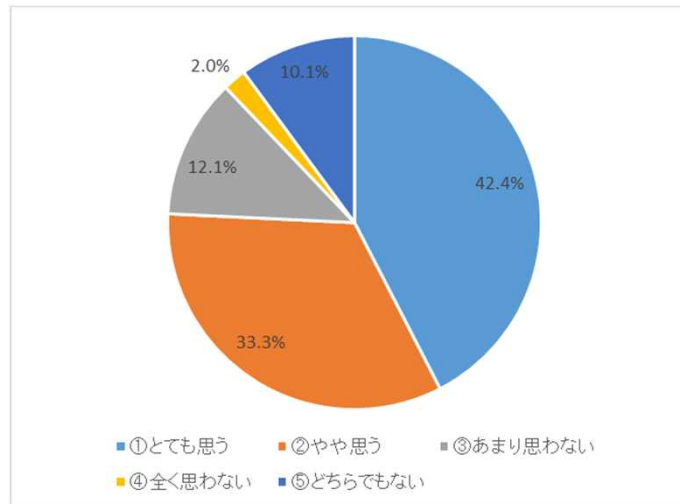
- ・「1,000円程度」の割合は、40.0%
- ・「2,000円程度」の割合は、32.7%
- ・「3,000円程度」の割合は、14.5%
- ・「負担したくない」の割合は、9.1%
- ・「その他」の割合は、3.6%
- ・「その他」の中には、5,000円程度や「内容による」などの回答があった。



【教員】問1

休日の部活動を地域に移行することは、良いことだと思いますか。

- ・「とても思う・やや思うとある」と回答した割合は、75.7%
- ・「あまり関心がない・全く関心がない」と回答した割合は、14.1%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、10.1%



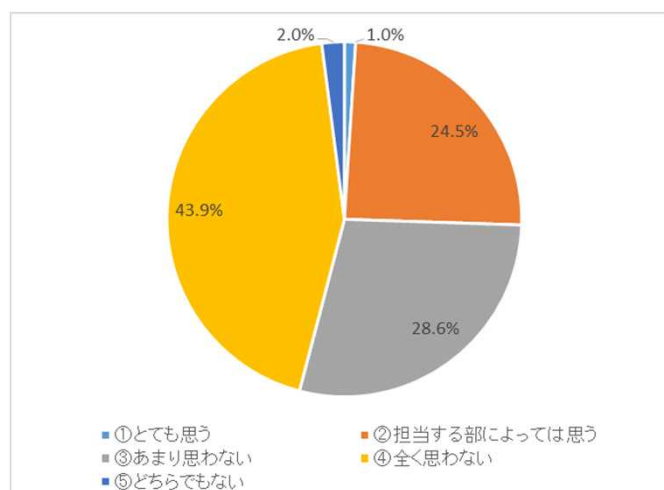
【教員】問2

休日の部活動が地域移行された場合、**兼職兼業の許可を得た上で、地域の指導者として地域部活動の指導をしたい**ですか。

【兼職兼業】

『休日の地域部活動に従事することを希望する教師については、学校以外の主体である地域団体の業務に従事することとなるため、サービスを監督する教育委員会の兼職兼業の許可が必要となり、許可を得た場合には、地域団体の業務に従事することが可能』「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について(文部科学省より通知)

- ・「とても思う」と回答した割合は、1.0%
- ・「担当する部によっては思う」と回答した割合は、24.5%
- ・「あまり思わない」と回答した割合は、28.6%
- ・「全く思わない」と回答した割合は、43.9%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、2.0%
- ・休日に兼職兼業の許可を得て地域部活動の指導をしたい教員は、約25%であった。

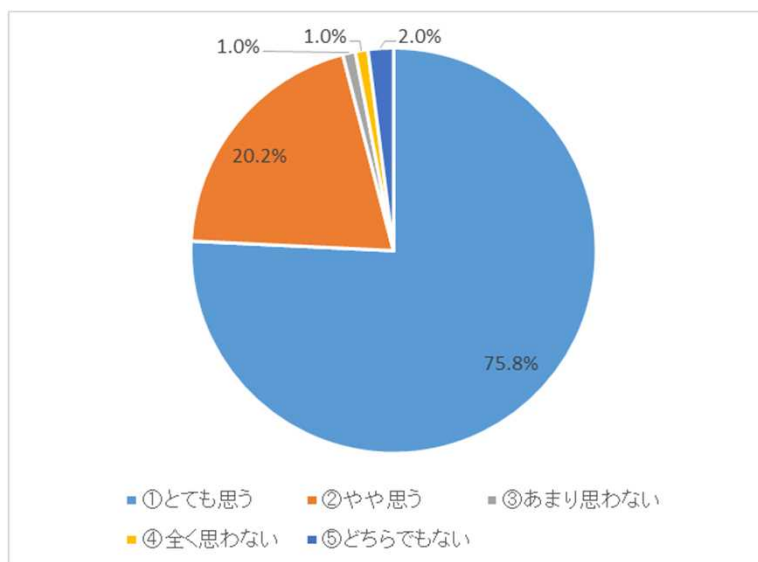


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

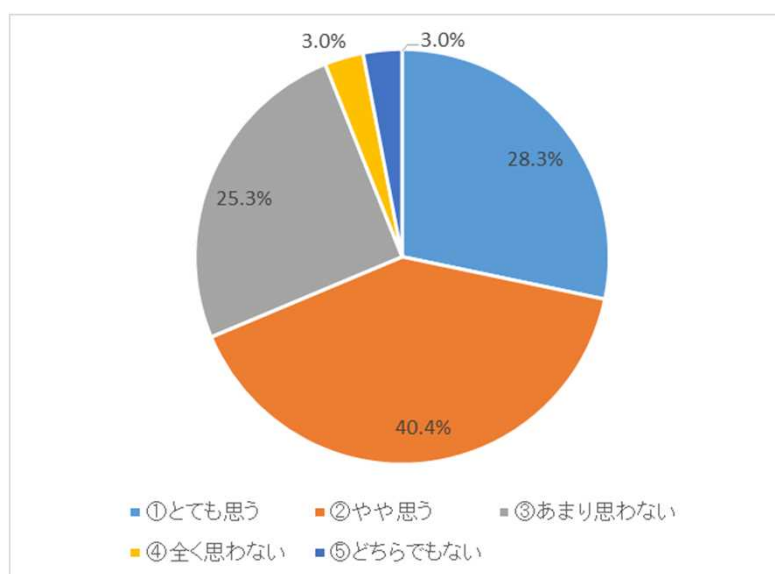
ア 地域指導者の人材確保

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、96.0%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、2.0%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、2.0%



イ 保護者の費用負担

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、68.7%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、28.3%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、3.0%

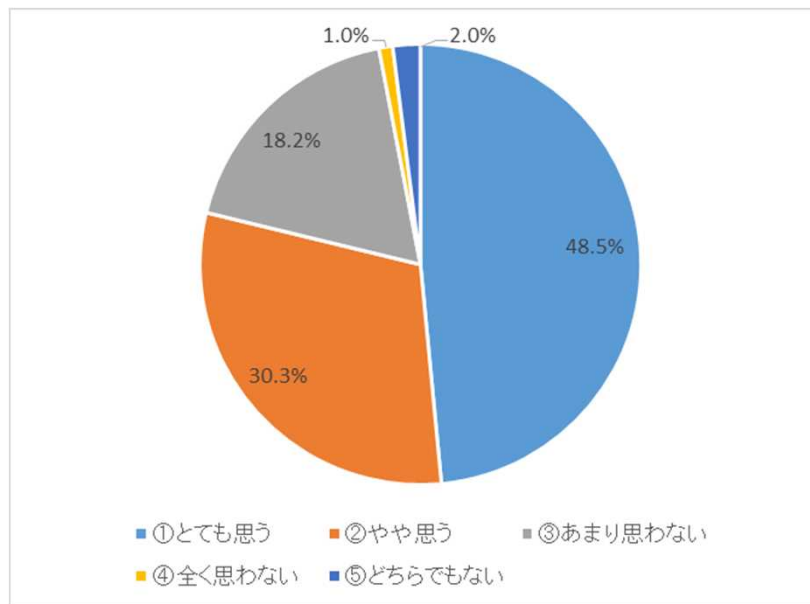


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

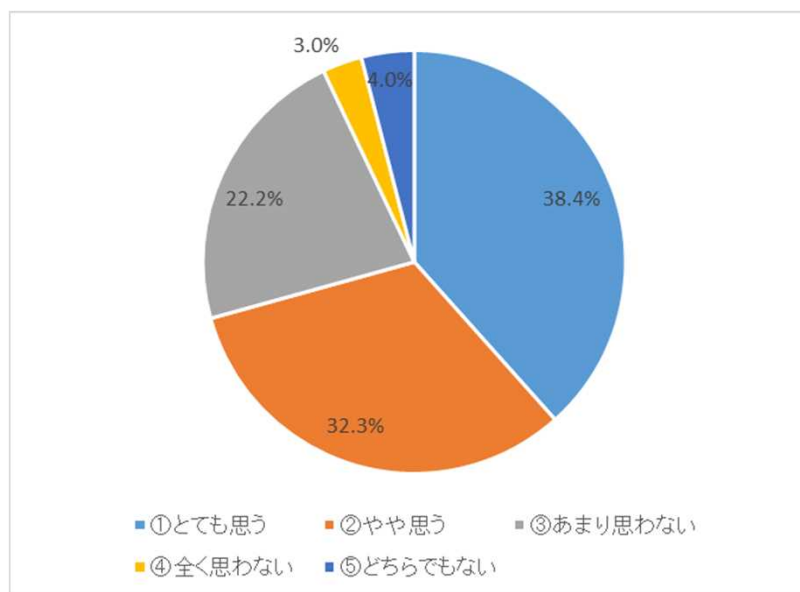
ウ 活動場所の確保

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、78.5%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、19.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、2.0%



エ 大会等への参加

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、70.7%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、25.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.0%

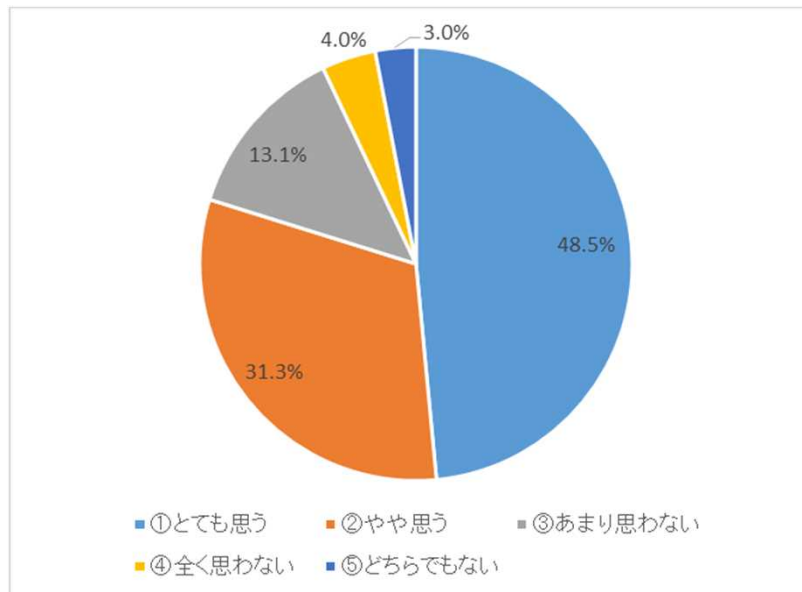


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

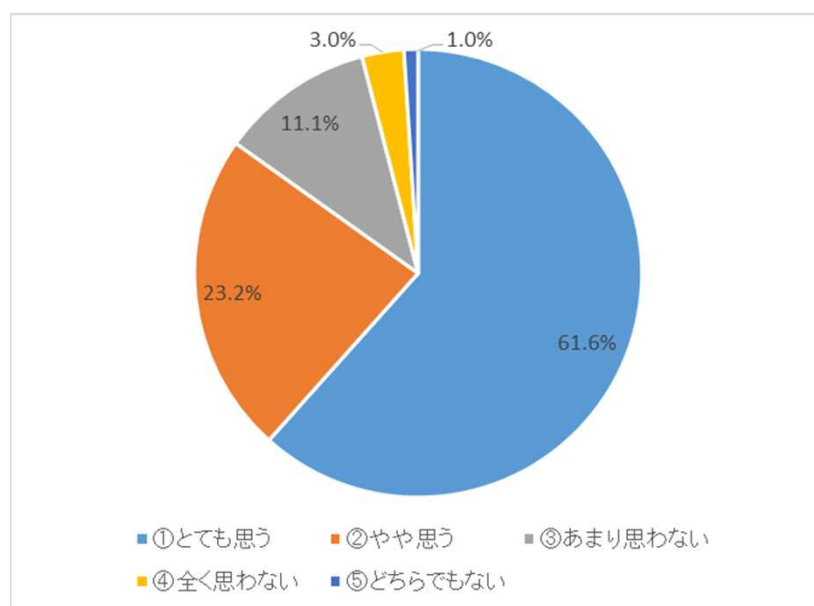
オ 安全面や事故への対応

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、79.8%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、17.1%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、3.0%



カ 運営団体(地域指導者)と教員(顧問)との連携

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、84.8%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、14.1%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、1.0%

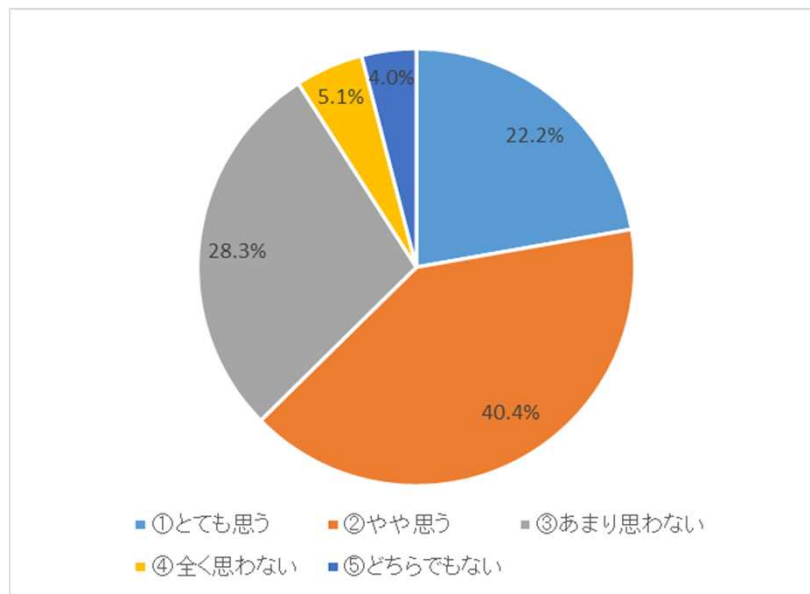


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

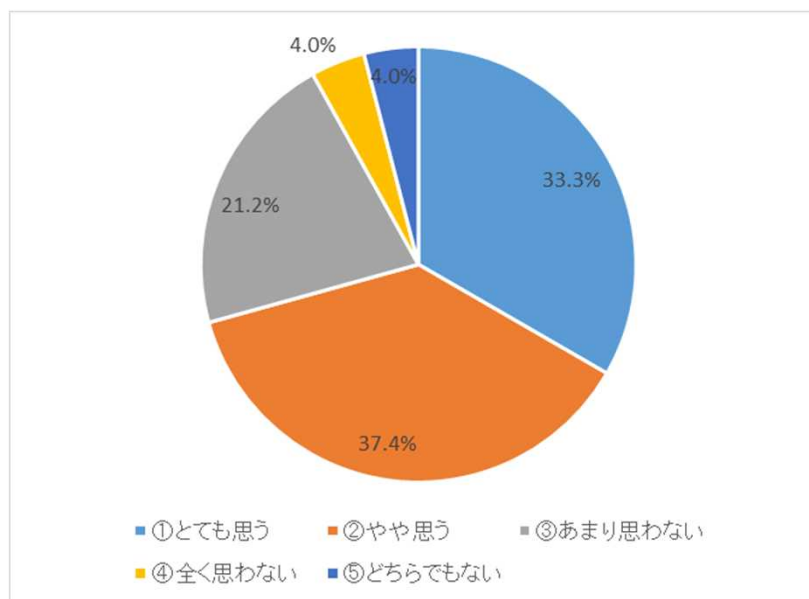
キ 部活動数の削減

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、62.6%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、33.4%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.0%



ク 生徒の理解

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、70.7%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、25.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.0%

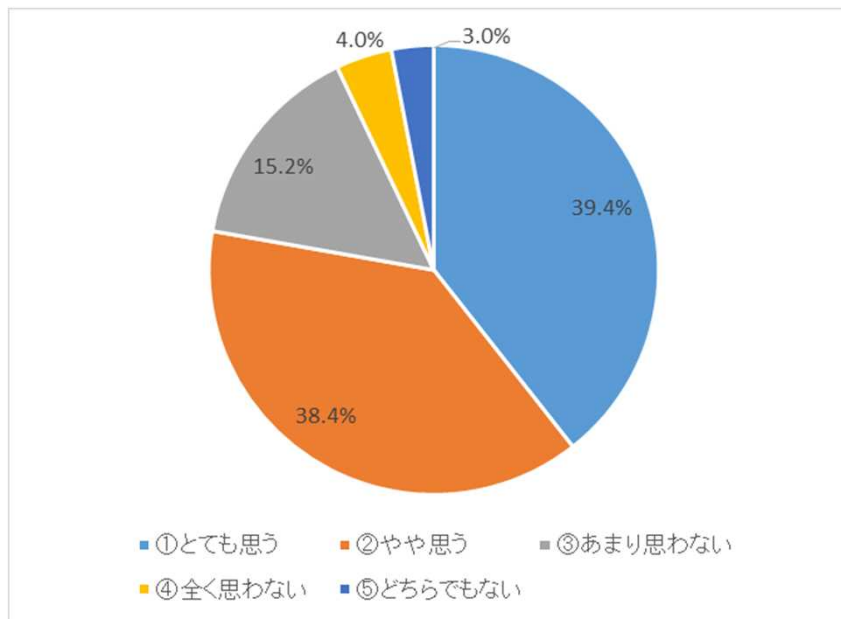


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

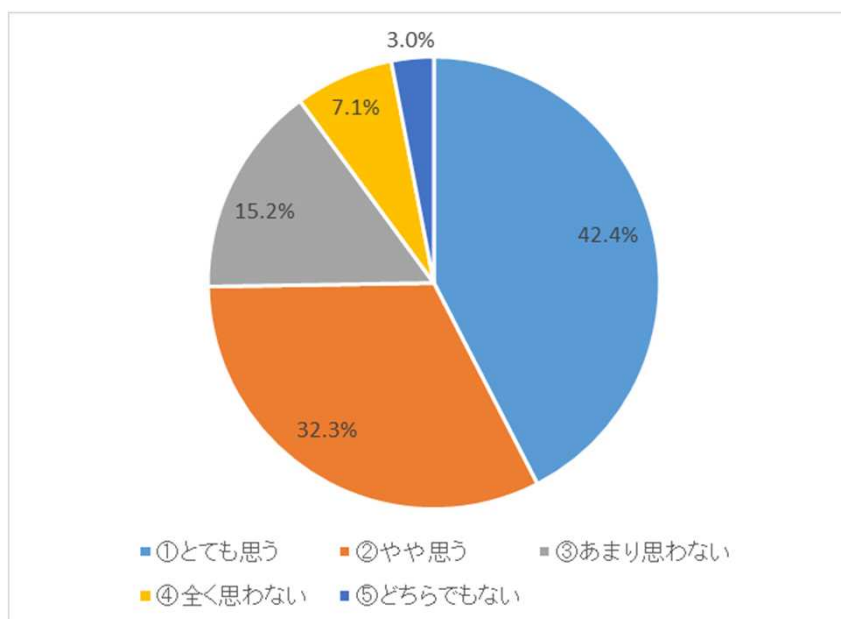
ケ 保護者の理解

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、77.8%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、19.2%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、3.0%



コ 教員の理解

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、74.7%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、19.3%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、3.0%

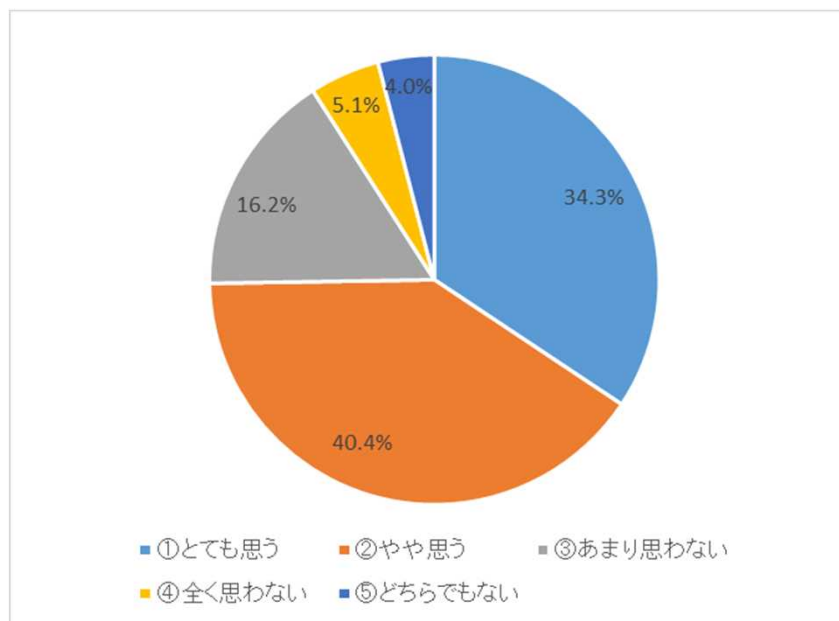


【教員】問3

休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。

サ 地域の理解

- ・「とても思う・やや思う」と回答した割合は、74.7%
- ・「あまり思わない・全く思わない」と回答した割合は、21.3%
- ・「どちらでもない」と回答した割合は、4.0%

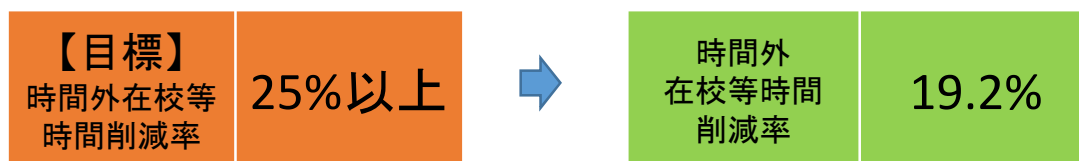


【新規のモデル事業実施部活動顧問(教員)】

(調査期間)10月の任意の7日間

顧問(教員)の時間外在校等時間について記入してください。

- ・令和4年度の事業目標「新規のモデル事業実施部活動顧問の時間外在校等時間を25%以上削減」について、前年度と今年度の顧問の時間外在校等時間を比較したところ、時間外在校等時間の削減率は、19.2%となった。



【教員】問4

休日の部活動の地域移行にあたり、御意見等がございましたら、自由に記載してください。

(一部抜粋①)

- 地域移行はたいへん良い試みだと思う。全ての部活動で早急に取り入れるべき。
- できるだけ速やかに進めてほしい。平日も地域に移行していくなら、地域移行は可能。休日だけでは難しい。平日の勤務時間外についても、できれば地域移行を進めてほしい。
- 中学校の過重労働のほとんどは部活動に起因すると考えているので、一刻も早く学校現場から切り離すべき。
- 教員で指導したい方には、対価を払って実施していくべきではないかと思う。労働にきちんと対価の払われるシステムにするべき。
- 休日の部活に関しては学校が全く関与しないようにしてほしい。体育館などの管理を任せられるなどすると、教員は結局休めない。
- 平日も休日も含め、教員にも超過勤務手当を支給するような制度することにより、学校部活動の存続を検討するのはどうか。
- 課題・問題点・状況が周知されないままの気がする。まずは、各部への外部指導者の配置を検討すべき。
- 今はゴールのわからないまま情報を個々で集めつつ考えているような状況なので、しっかり状況を把握し、きちんとした方向性を示してもらいたい。
- 部活動の負担が減るのは、ありがたいと思うが、生徒指導面や学校全体の活気など、現況と変わってきたり、生徒指導が難しくなるような気がする。
- 地域指導者と顧問の連携が難しい。教育者として活動してくれるのか、平日の生徒の過ごし方も踏まえて指導してくれるのかが問題だと感じる。何が子供のためになるのかを考えていけたらと思う。
- 技術面、人間的なこと両方、中学生を指導するのにふさわしい人が地域にいますか。普段関わっている教員とたまに来る人では違うと思う。

(一部抜粋②)

- 指導してくださる方への待遇(報酬等)によっては、指導者の確保が難しい。
- 継続して指導できる指導者が必要だと思う。保護者と連携し、信頼を得られるような関係を構築していかなければならない。
- 平日は教員の指導、休日は外部人材の指導で、本当に生徒の能力は伸びるのか。
- 指導者は、熱心な方が多いので、休日の確保や、練習時間などのルールを守る等、過度な負担が生徒にかからないように配慮が必要。
- 平日に指導する教員と休日の指導者とで、方針の違いがあるとき、どうするか。教員と休日の指導者との情報共有、連携のしくみをどのように整えればいいのか。
- 生徒の成長の場であることが重要だと考える。部活の指導を地域に移行した場合、学校において生徒指導上の問題が増える可能性は高いと考える。そうなると困るのが学校、生徒、保護者、教員なのかなと思う。
- 地域移行した場合、運営面等で保護者や指導者に新たな負担が出ないようにすべきだと思う。
- 指導方針の共通理解や、何かあった時の責任の所在をはっきりとする必要がある。
- 活動場所へ行く交通手段を考慮する。保護者の送迎は見込みにくい。
- 地域の人が指導してくれても、教員が休日に出勤したり引率しなければならなくなると意味が半減してしまうと思う。
- 休日の練習試合や試合について、地域指導者や保護者に任せられるようになっていくのかどうか。
- 中体連の全国大会廃止なしには成立しない。県大会までは行うが、四国・全国大会はそれぞれの競技団体が行うのがよい。
- 現在の大会の持ち方を変えなければ、変わらないと思う。放課後のクラブの運営を担う、新しい組織が必要だと思う。

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	小松島市教育委員会 担当課：学校課 電話番号：0885-32-3811
------	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	2校	② 生徒数	794人	③ 部活動数	19部活
--------	----	-------	------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

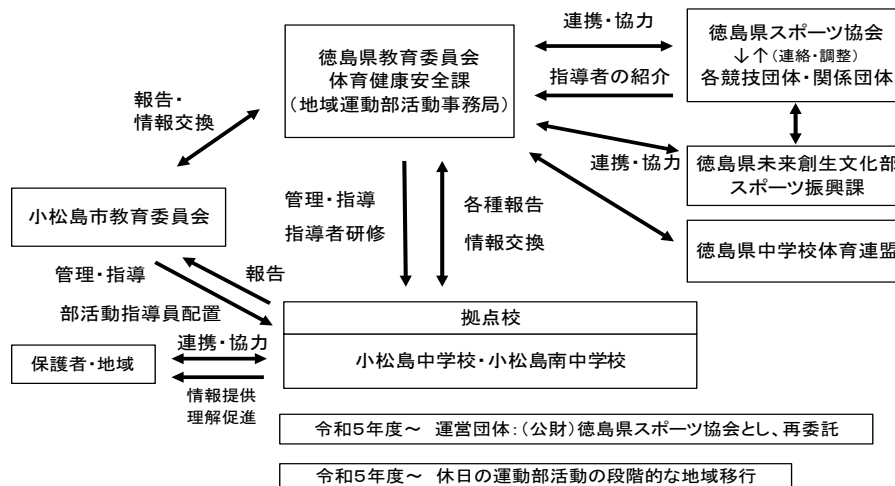
・ 学校部活動は、生徒にとって、体力や技能の向上に資するだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあり、多様な生徒が、活躍できる場であり、豊かな学校生活を実現する重要な役割を有していると認識している。しかしながら、本市の2中学校の運動部活動においては、生徒数の減少による部員不足に伴い、単独校では練習や大会参加が困難な事例や、廃部または休部する部活動により、小学生のときからの活動を継続できない事例がある。また、教員によっては、経験のない部活動の顧問になることもあり、指導に悩む教員もおり、生徒や保護者の多様なニーズに負担を感じている。

・ これまで中学生がスポーツに親しむ機会は、学校が運動部活動を設置運営する形で確保されてきたが、少子化の影響や学校の働き方改革を踏まえると、現行の仕組みを維持する困難さは、今後ますます大きくなることが予測される。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 新規のモデル事業実施部活動顧問の指導時間を10%以上削減
- ・ 生徒及び保護者の地域移行に対する満足度80%以上
- ・ 休日の部活動を地域部活動として80%以上実施

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

『徳島県運動部活動の地域移行推進協議会』 ※小松島市は、実践研究実施団体として、県の推進協議会に参加

- ・ 円滑な地域移行に向けた検討を進めるため、県及び市町村教育委員会や総合型地域スポーツクラブ、PTA等で構成する協議会を立ち上げ、継続して意見交換を実施

<p>第1回（8月）議事内容</p> <p>(1)徳島県運動部活動の地域移行推進協議会設置要項 (2)運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要 (3)徳島県地域運動部活動推進事業の状況 (4)各市町村の地域移行に係る状況 (5)今後の協議会の在り方 (6)意見交換 〔有識者の助言〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、各市町村の持っている資源の把握が必要 ・所管する各中学校や保護者及び地域住民との意見交換が必要 等 	<p>第2回（10月）議事内容</p> <p>(1)運動部活動の地域移行に向けての手引き（案） (2)令和5年度徳島県地域運動部活動推進事業（案） (3)意見交換 〔有識者の助言〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の活用 ・休日の部活動運営を複数校で共同実施 ・地域に応じた様々な形態での実施を検討 等 	<p>第3回（2月・文化部活動との合同）議事内容</p> <p>(1)部活動の地域移行に向けての手引き（案） (2)令和4年度徳島県地域運動部活動推進事業 (3)令和5年度運動部活動の地域移行等実証事業（案） (4)意見交換 〔有識者の助言〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒がわくわくするような形づくり」をするための地域連携大切 ・退職教員がこれまでの経験を生かしながら支える ・組織をマネジメントする人材、クラブそのものが社会組織化していく必要 等
--	---	--

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	市内全2中学校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	3部活
④ 種目	男子新体操、ソフトテニス、バドミントン

《取組例（1）》…小松島市小松島中学校

① 運営主体	小松島市教育委員会		
② 種目	男子新体操	③ 参加者数	12人
④ 活動日	土曜日または日曜日	④ 活動場所	県立小松島高等学校クラブハウス他
⑤ 指導者人数	2人	⑥ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑦ 指導者属性	退職教員1名、県費非常勤職員1名を指導者として派遣		
⑧ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

《取組例（2）》…小松島市小松島中学校

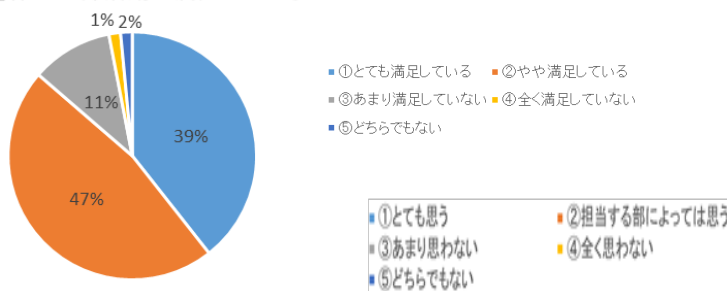
① 運営主体	小松島市教育委員会		
② 種目	ソフトテニス	③ 参加者数	44人
④ 活動日	土曜日または日曜日	④ 活動場所	小松島中学校テニスコート
⑤ 指導者人数	1人	⑥ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑦ 指導者属性	退職教員1名を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

《取組例（3）》…小松島市小松島南中学校

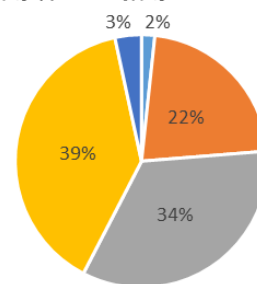
① 運営主体	小松島市教育委員会		
② 種目	バドミントン	③ 参加者数	29人
④ 活動日	土曜日または日曜日	④ 活動場所	旧坂野中学校及び旧立江中学校体育館
⑤ 指導者人数	2人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	教員1名（兼職兼業）、学校事務職員1名を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教員）

【生徒】休日の部活動に満足しているか



【実践研究校教員】休日の部活動が地域移 足
行された場合、兼職兼業の許可を得た上で、
地域の指導者として指導したいか



3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

○指導者の確保

- ・学校行事や生徒指導面などで学校との連携が必要
- ・県教育委員会が設置している「運動部活動指導者人材バンク」の活用

○活動場所の確保

- ・中学校等の体育施設を積極的に利用するほか、市営の体育施設や高等学校、廃校となった施設等の利用
- ・学校の施設を利用しての活動が想定されるため、施設の利用について、運営団体とのルール設定が必要
- ・公的な体育施設を利用する場合、利用規約や減免措置等の改善を検討

○受益者負担のあり方

- ・学校管理外の活動であるため、活動に要する費用が受益者負担となることが原則 ※今年度は、実践研究のため、受益者負担なし
- ・保護者からの理解を得ることが重要 ・部活動を地域移行することのメリットを踏まえた、保護者への情報発信が必要

○学校の部活動数の削減及び複数顧問の配置

- ・学校規模に応じた、適切な部活動数の設定 ・地域スポーツクラブと連携した部活動競技の設置を検討

○平日の学校部活動との棲み分け

- ・平日は、学校部活動として活動し、休日は、地域スポーツクラブとしての活動であるため、希望参加とする
- ・地域スポーツクラブの運営母体の設置について検討

○事故発生時の責任分担の整理

- ・参加生徒及び指導者の「スポーツ安全保険」の加入 ・事故発生時の対応マニュアル等の作成
- ・地域スポーツ活動は学校管理外の活動であるため、運営主体となっている団体が責任を負う
- ・休日と平日で指導者が異なる場合には、指導者間で指導方針や生徒に関する情報等の共有を行うなど、緊密な連携を図る必要がある

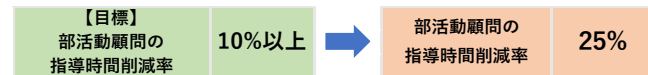
○大会への参加資格

- ・地域クラブの参加資格については、日本中体連の動向を注視する

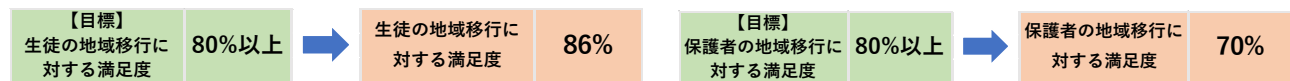
4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

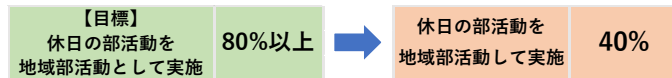
- ・新規のモデル事業実施部活動顧問の指導時間を10%以上削減



- ・生徒及び保護者の地域移行に対する満足度80%以上



- ・休日の部活動を地域部活動として80%以上実施



4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

- ・関係機関との連携し、部活動の地域移行に向けた検討会を開催する。
- ・統括コーディネーターの配置を検討する。

【受け皿団体の確保方策】

- ・既存の組織の活用を検討
- ・困難な場合は、新たな組織・団体の立ち上げも検討

【指導者の確保方策】

- ・地域人材の把握（地域スポーツ団体の登録者、スポーツ推進委員、スポーツ少年団の指導者、退職教員等）
- ・指導を希望する教師の把握 ・人材バンクの活用

【困窮世帯への支援方策】

- ・地域スポーツクラブ活動に係る収支を踏まえた会費の適切な設定・徴収方法の検討
- ・可能な限り低廉な会費の設定を検討

【地域移行の自走化に向けた方策】

- ・「国のガイドライン」及び「徳島県における中学校の地域移行に向けての手引き」等を参考に、推進計画等の策定など、地域の実情に応じ、地域移行に向けた取組を進める

【地域特有の課題への対応策】

- ・直ちに体制を整備することが困難な場合には、当面、学校部活動の地域連携として、拠点校方式による合同部活動の導入、部活動指導員や外部指導者を適切に配置し、生徒の活動環境を確保

【生徒】 「休日の地域部活動」に関するアンケート

アンケート項目	選択肢	回答	
問1 現在の休日の部活動に満足していますか。	①とても満足している	26	39.4%
	②やや満足している	31	47.0%
	③あまり満足していない	7	10.6%
	④全く満足していない	1	1.5%
	⑤わからない	1	1.5%
	合計	66	100.0%
問2 休日の地域部活動の量（頻度・時間）は、適切ですか。	①とても思う	21	31.8%
	②やや思う	29	43.9%
	③あまり思わない	9	13.6%
	④全く思わない	2	3.0%
	⑤わからない	5	7.6%
	合計	66	100.0%
問3 部活動では、勝つことや入賞することが大切だと思いますか。	①とても思う	23	34.8%
	②やや思う	32	48.5%
	③あまり思わない	9	13.6%
	④全く思わない	0	0.0%
	⑤どちらでもない	2	3.0%
	合計	66	100.0%
問4 部活動では、楽しむことが大切だと思いますか。	①とても思う	47	71.2%
	②やや思う	17	25.8%
	③あまり思わない	1	1.5%
	④全く思わない	0	0.0%
	⑤どちらでもない	1	1.5%
	合計	66	100.0%
問5 現在、部活動で取り組んでいる競技を、中学校卒業後（後期課程になっても）も続けたいと思いますか。	①とても思う	17	25.8%
	②やや思う	26	39.4%
	③あまり思わない	17	25.8%
	④全く思わない	3	4.5%
	⑤どちらでもない	3	4.5%
	合計	66	100.0%
問6 生涯にわたり、スポーツに取り組んでみたいと思いますか。	①とても思う	22	33.3%
	②やや思う	29	43.9%
	③あまり思わない	9	13.6%
	④全く思わない	4	6.1%
	⑤どちらでもない	2	3.0%
	合計	66	100.0%

【保護者】 令和4年度徳島県地域運動部活動推進事業

「休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究」に係るアンケート

アンケート項目	選択肢	回答	
問1 休日の部活動の地域移行（休日の部活動を学校の活動ではなく、クラブチームや競技団体、民間事業者などに運営を委ね、地域に移行しようとする動き）に関心はありますか。	①とても関心がある	13	20.0%
	②やや関心がある	29	44.6%
	③あまり関心がない	16	24.6%
	④全く関心がない	1	1.5%
	⑤どちらでもない	6	9.2%
	合計	65	100.0%
問2 休日の部活動を地域に移行することは、良いことだと思いますか。	①とても思う	17	26.2%
	②やや思う	27	41.5%
	③あまり思わない	11	16.9%
	④全く思わない	0	0.0%
	⑤どちらでもない	10	15.4%
	合計	65	100.0%
問3 お子様の、現在の休日の地域部活動に満足していますか。	①とても満足している	14	21.5%
	②やや満足している	31	47.7%
	③あまり満足していない	9	13.8%
	④全く満足していない	1	1.5%
	⑤どちらでもない	10	15.4%
	合計	65	100.0%
問4 休日の地域部活動の量（頻度・時間）は、適切ですか。	①適切である	30	46.2%
	②かなり多い	4	6.2%
	③やや多い	14	21.5%
	④やや少ない	9	13.8%
	⑤かなり少ない	2	3.1%
	⑥わからない	6	9.2%
	合計	65	100.0%
問5-1 休日の部活動の地域移行にあたり、心配されることは何ですか。3つまでお答えください。	①地域指導者の質の担保が出来るのか	20	11.1%
	②保護者の費用負担が発生しないか	20	11.1%
	③活動場所が確保出来るのか	10	5.6%
	④大会などへの参加が出来るのか	9	5.0%
	⑤安全の確保や事故への対応が適切に出来るのか	43	23.9%
	⑥学校の教員（顧問）との連携がスムーズに出来るのか	34	18.9%
	⑦トラブルになった場合の対応がしっかり出来るのか	44	24.4%
	合計	180	100.0%

<p>問5-2</p> <p>問5-1について、御意見等がございましたら、自由に記載してください。</p>	<p>教員が休日に部活動の指導をする必要はないと思いますが、（外部）地域指導者が指導するのは部活動と言うんでしょうか。</p> <p>休日の部活動の連絡がいつも遅いです。練習試合や大会等の日程がわかるのが急なため、対応に困惑します。LINEグループをもう少し活用していただけると助かります。</p> <p>現在、休日に体調不良で急遽休むことになった場合、学校の先生、外部コーチともに連絡がとりづらく、先生とコーチの間で連絡できていない感じがします。早急に改善してほしいです。</p> <p>地域指導者は、どのような基準を持って決定するのか。子どもを預かる上で、どのような人物などは、きちんと明確に公表してほしい。</p> <p>子どもの学校や部活動、塾等で完全に休みになる日があまりないので、日曜日に大会以外で参加するのに少し抵抗があります。</p> <p>やはり、中学校の部活動で、高額な費用負担が出てくると、テニスをしたくても入部できない子等が出てくると思うので、部活格差ができると思います。</p> <p>技術面の指導は良いのですが、容姿について言われたことがありました。子どもに対する言葉の言い方で傷つくことがあるので、注意してもらいたいです。</p> <p>行き帰りの安全面。部活で習った内容と同じことをしても、休日の部活で習ったことが違ったり連絡など、伝達など…</p> <p>活動場所が遠い場合、雨天時降雪時は行き帰りが心配です。</p> <p>子どもの移動・安全・安心面などから、学校施設を使用できればいいと思います。</p> <p>地域移行にするにあたって、全学校で統一してもらいたい。本校だけでは、練習量、指導者の不安があり、よそと差がないのかなど考えられる。部活と同じ量の練習できるのかなど。また、場所など。十分に不安要素なく、よその地域も同じようにする方がいいと思う。☆大会については、学校と地域指導者どちらが付き添うのか、教え方に違いがあり、意見してのトラブルにならないのか、生徒が困らないか心配である。</p>																									
<p>問6</p> <p>休日の地域部活動に係る費用（指導者への謝礼金、施設使用料、保険料など）について、いくらまでなら負担してもよいとお考えですか。 ※令和4年度は、地域部活動に係る費用については、国費によりまかなわれています。 （旅費、ジャージ、シューズ代等は除く）</p>	<table border="1"> <tr><td>①1,000円程度（一ヶ月当たり）</td><td>27</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>②2,000円程度（一ヶ月当たり）</td><td>10</td><td>19.2%</td></tr> <tr><td>③3,000円程度（一ヶ月当たり）</td><td>3</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>④負担したくない</td><td>10</td><td>19.2%</td></tr> <tr><td>⑤その他（一ヶ月当たり）</td><td>2</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>52</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p>⑤具体的金額を記載してください→</p> <table border="1"> <tr><td>円</td></tr> <tr><td>円</td></tr> <tr><td>円</td></tr> <tr><td>円</td></tr> <tr><td>円</td></tr> <tr><td>円</td></tr> </table>	①1,000円程度（一ヶ月当たり）	27	51.9%	②2,000円程度（一ヶ月当たり）	10	19.2%	③3,000円程度（一ヶ月当たり）	3	5.8%	④負担したくない	10	19.2%	⑤その他（一ヶ月当たり）	2	3.8%	合計	52	100.0%	円	円	円	円	円	円	
①1,000円程度（一ヶ月当たり）	27	51.9%																								
②2,000円程度（一ヶ月当たり）	10	19.2%																								
③3,000円程度（一ヶ月当たり）	3	5.8%																								
④負担したくない	10	19.2%																								
⑤その他（一ヶ月当たり）	2	3.8%																								
合計	52	100.0%																								
円																										
円																										
円																										
円																										
円																										
円																										

問7

休日の部活動の地域移行にあたり、ご意見等がございましたら、自由に記載してください。

休日に部活動をする必要があるのか疑問です。もちろん試合とかは休日にあるとは思いますが、その場合はしょうがないでしょうが。そのときは教員は、休日出勤として給料が発生するようなシステムにした方がいいのでは。部活動は、学級や学年の枠を超えて同好の児童生徒が自主的・自発的に集い、顧問の指導のもとで個人や集団としての目的や目標を持ち、切磋琢磨することを通じて、人間関係の大切さ、組織を機能させることの重要性を学ぶことができる教育活動ではないでしょうか。ということは学校がある日だけでいいと思うんですよね。でも、スポーツの部活動は休日もしないと難しいんじゃないかな。

休日に部活をするにこだわりはありません。休日は、休みにして平日を毎日練習して、そのうちの何日かを地域移行にした方が、先生方の負担は減るのではないのでしょうか。休日は、大会、練習試合以外の日は、塾に行く、家族と過ごす、クラブチームに行く、それぞれの家庭の価値観の過ごし方でよいのでは。

地域移行することにより、練習地が遠くなり、参加できない生徒が出ないようにお願いします。また、敷居が高くなり、部活動参加自体をあきらめてしまう生徒が出ないようにお願いします。

地域部活動を行うのはよいが、指導者の方は、引き受けるのであれば、熱心に指導していただきたい。

退職さん、なおかつ小松島市在住の教職員の方を積極的に指導者として頑張ってもらったらどうでしょうか。子どもたちも顔見知りで、スポーツに専門的な知識と技術のある先生なら、喜んで指導を受けられると思います。

遠いところで部活動をするとき、送り迎えが大変。急に場所が決まるときなど、困るときがある。大神子での練習で帰宅が暗くなっているときがあるので心配。

経験者の指導員に教わることで、より専門的な技術を習得でき、本人も大変満足しているようです。今後もこのような活動を続けていってほしいです。

学校の先生が、平日できないのであれば、休日に部活動をする必要はないと思っています。

授業力向上にむけて、1日でも早く移行して欲しいと思います。教師の本業の仕事である教育・授業に集中できるようになれば、教育の質も上がり、子どもたちのためにと繋がると思います。

子どものやりたいことであれば、協力はしようと思っているので、安全の確保や事故などの対応ができるのならいいと思います。

欠席や何かあったときの連絡先等がはっきりしていないような気がします。

夏休み合宿などいらないと思う。学校の先生の負担が大きいため、先生も(大会以外)子どもも休日は部活なしでいいと思う。強くなりたい、頑張りたいと思っている子は、自分で(部活とは別の)クラブに入ったりしているし、部活と休日の部活は、全く別物と考えた方がいいと思う。休日の部活というのを作る必要がないと思う。

問6について、負担したくないわけではないが、できれば国費などで運営して欲しいです。

休日の地域コーチと顧問の先生の指導の仕方が全然違ったりで、どちらにあわせていいか困らないかの…心配である。できれば、指導方法も同じようにしてもらいたい。全く違うことをして、どちらのいうことを聞くのが正しいか生徒自身の判断が迷いが出るのでは?話し合っただけ程度同じ方向で導いて欲しいです。

【教員】 令和4年度徳島県地域運動部活動推進事業

「休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究」に係るアンケート

アンケート項目	選択肢	回答		
問1 休日の部活動を地域に移行することは、良いことだと思いますか。	①とても思う	30	50.0%	
	②やや思う	14	23.3%	
	③あまり思わない	8	13.3%	
	④全く思わない	2	3.3%	
	⑤どちらでもない	6	10.0%	
	合計	60	100.0%	
問2 休日の部活動が地域移行された場合、兼職兼業の許可を得た上で、地域の指導者として地域部活動の指導をしたいと思いますか。 （御自身が運動部活動の顧問になったと想定してお答えください）	①とても思う	1	1.7%	
	②担当する部によっては思う	13	22.0%	
	③あまり思わない	20	33.9%	
	④全く思わない	23	39.0%	
	⑤どちらでもない	2	3.4%	
	合計	59	100.0%	
問3 休日の部活動の地域移行にあたり、課題として考えられる内容について、下の項目について重要な課題であると思いますか。	ア			
	地域指導者の人材確保	①とても思う	45	75.0%
		②やや思う	11	18.3%
		③あまり思わない	1	1.7%
		④全く思わない	1	1.7%
		⑤どちらでもない	2	3.3%
合計		60	100.0%	
イ 保護者の費用負担	①とても思う	15	25.0%	
	②やや思う	22	36.7%	
	③あまり思わない	18	30.0%	
	④全く思わない	2	3.3%	
	⑤どちらでもない	3	5.0%	
	合計	60	100.0%	
ウ 活動場所の確保	①とても思う	30	50.0%	
	②やや思う	17	28.3%	
	③あまり思わない	10	16.7%	
	④全く思わない	1	1.7%	
	⑤どちらでもない	2	3.3%	
	合計	60	100.0%	
エ 大会等への参加	①とても思う	24	40.0%	
	②やや思う	15	25.0%	
	③あまり思わない	16	26.7%	
	④全く思わない	2	3.3%	
	⑤どちらでもない	3	5.0%	
	合計	60	100.0%	

オ 安全面や事故への対応	①とても思う	24	40.0%
	②やや思う	19	31.7%
	③あまり思わない	11	18.3%
	④全く思わない	4	6.7%
	⑤どちらでもない	2	3.3%
	合計	60	100.0%
カ 運営団体（地域指導者）と教員（顧問）との連携	①とても思う	34	56.7%
	②やや思う	16	26.7%
	③あまり思わない	6	10.0%
	④全く思わない	3	5.0%
	⑤どちらでもない	1	1.7%
	合計	60	100.0%
キ 部活動数の削減	①とても思う	16	26.7%
	②やや思う	23	38.3%
	③あまり思わない	15	25.0%
	④全く思わない	4	6.7%
	⑤どちらでもない	2	3.3%
	合計	60	100.0%
ク 生徒の理解	①とても思う	16	26.7%
	②やや思う	25	41.7%
	③あまり思わない	12	20.0%
	④全く思わない	4	6.7%
	⑤どちらでもない	3	5.0%
	合計	60	100.0%
ケ 保護者の理解	①とても思う	21	35.0%
	②やや思う	22	36.7%
	③あまり思わない	10	16.7%
	④全く思わない	4	6.7%
	⑤どちらでもない	3	5.0%
	合計	60	100.0%
コ 教員の理解	①とても思う	23	38.3%
	②やや思う	21	35.0%
	③あまり思わない	7	11.7%
	④全く思わない	6	10.0%
	⑤どちらでもない	3	5.0%
	合計	60	100.0%
サ 地域の理解	①とても思う	20	33.3%
	②やや思う	22	36.7%
	③あまり思わない	12	20.0%
	④全く思わない	3	5.0%
	⑤どちらでもない	3	5.0%
	合計	60	100.0%

問4

休日の部活動の地域移行にあたり、御意見等がございましたら、自由に記載してください。

指導してくださる方への待遇（報酬等）によっては、指導者の確保が難しくなるかもしれない。指導者は、熱心な方が多いので、休日の確保や、練習時間などのルールを守る等、過度な負担が生徒にかからないように配慮が必要かもしれない。（「過度な大会参加→大会前だから休日返上で練習」のパターンがずっと続くなど）。平日に指導する教員と休日の指導者とで、方針の違いがあるとき、どうするか。教員と休日の指導者との情報共有、連携のしくみをどのように整えれば良いか。など

休日の練習試合や試合について、地域指導者や保護者に任せられるようになっていくのかどうか。

部内でのトラブルの対応（指導者も含む）が課題

今すぐにも地域移行を中止してほしい。スポーツ庁が何のプランもないのに、いろんなところに丸投げしているから、我々にしわ寄せがきている。金もうけのためにできないことを進めるのはやめてほしい。

学校生活の中、一部生徒理解ができず教育をすることがいいのだろうか。

技術面、人間的なこと両方、中学生を指導するのにふさわしい人が地域にいるのでしょうか。普段かかわっている教員とたまに来る人ではやはり違うと思うので。

できるだけ速やかに進めてほしい。また、平日の勤務時間外についても、できれば地域移行を進めてほしい。

中学校の過重労働のほとんどは部活動に起因すると考えている。なので、一刻も早く学校現場から切り離すべき、その上で、指導をしたいと考える教員がいるのなら、副業という形で活動を認めれば良い。いずれにせよ、労働にきちんと対価の払われるシステムにするべき。現状の部活動は苦しいかと私は考える。

地域部活動というのがわかりにくい。部活動を平日も休日も外部指導者が行うのか、地域スポーツクラブとして、学校から切り離すというのがわかりやすいのではないか。あるいは、教員が平日も休日も指導するのか。

早く決めて欲しい。

休日だけでなく、平日もすべて地域移行して欲しい。30代40代で「担任しません」が許されるのに、50代後半や再任用が部活を担当するのはおかしい。教員数が減っているのに部活数が変わらない＝負担増。

生徒の成長の場であることが重要だと考えます。部活の指導を地域に移行した場合、学校において生徒指導上の問題が増える可能性は高いと考えます。そうなる困るのが学校、生徒、保護者、教員なのか。地域移行するのであれば、スポーツに励んでいる児童、保護者、指導者の声を取り上げ、現場の教員の考え(指導を望む立場も)を反映させて欲しいと思います。

現在の大会の持ち方を変えなければ、変わらないと思う。放課後のクラブの運営を担う、新しい組織が必要だと思う。(職業として)。教員数の増、各部への外部指導員の配置。

課題・問題点・状況が全く周知されないままな気がします。地域移行した場合、運用面等で使用料等で保護者や指導者に新たな負担が出ないようにすべきだと思います。

情報がほとんどなく、状況もいつの間にか全面移行から休日だけに変わっている。振りまわされる側の気持ちも考え、しっかり状況を把握し、できること、できないことを考え、きちんとした方向性を示してもらいたい。今はゴールのわからないまま情報を個々で集めつつ考えているような状況である。

総体等の運営は、地域の方々では難しい面がある。働き方改革という観点で、また、将来の部活動の地域移行は、未来に向かっては必要なことと考える。

課題はたくさんあると思いますが、前向きに進めていくべきことではないかと思えます。教員で指導したい方には、対価を払って実施していくべきではないかと思えます。やったことのないことを指導するのは、心苦しく、一から勉強するのに、とても手間がかかります。

「指導者の確保」というのは、ずっとなのか。期間が限定なのか。クラブが人材確保できず途中でなくなってしまうのは生徒が辛い。また、1人での指導は負担が大きすぎないか。平日、教員の指導、休日は外部以降で本当に生徒の能力は伸びるのか。一体的な指導ができないのに、生徒に質の高い練習を求めることは難しい。結局、生徒の力を伸ばしてやれないのでは。そもそも休日は、特殊業務手当がつくが、平日の部活はつかない。働き方改革を考える中で、そちらの方が課題ではないか。部活動をする教員と副顧問の教員負担の違いが大きすぎるが、そこへのインセンティブがないことも課題だと考える。

【実践研究実施部顧問（教員）】 令和4年度徳島県地域運動部活動推進事業

「休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究」に係る時間外在校等時間の状況調査

アンケート項目	選択肢	回答			
問1 所属等について記入してください。	学校名	小松島南中学校			
	部活動名	バドミントン部			
問2 調査対象期間について記入してください。	始期	11月	19	日	
	終期	11月	25	日	
問3 顧問（教員）の時間外在校等時間について記入してください。	令和3年度 平日	9	時間		12 R3計 時間
	令和3年度 休日	3	時間		
	令和4年度 平日	9	時間		9 R4計 時間
	令和4年度 休日	0	時間		